

地域医療AI・デザイン研究講座主催 配信会議

山形県から羽ばたく地域医療の新結合 ～産業連携・遠隔医療・地域医療・AI活用の最前線～ ～人口減少時代のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)～

総合司会 池田 猛(雪国フォーラム顧問)

10:15～ 開会の辞

- ・小林 剛也 (財務省大臣官房秘書課 財務官室長 /山形県国際化・交流拡大アドバイザー)
- ・山口 浩明(山形大学地域医療AI・デザイン研究講座/創薬科学講座教授)

【医療とAI、そして遠隔へ】

10:30～12:00

座長 小林 剛也 財務省大臣官房秘書課 財務官室長

- 早坂 達哉 (山形大学研究拠点リーダー)
「見える医療が作る安心ー地域医療研究におけるAI/ARの可能性」
- 山寺 純 (株式会社Eyes Japan 代表取締役)
「医療ITはどうすれば“事業として生き残るのか”
ー SaMD・AI・サイバーセキュリティ・規制を同時に成立させる起業の現場 ー
- 高木 俊介(横浜市立大学附属病院集中治療部 部長・日本遠隔医療学会大会長(2026年))
「地域における遠隔医療の役割と2040年における展望」

13:00～14:30

座長 川前 金幸 山形大学名誉教授/太田西ノ内病院特任病院長

- 島貴 隆夫理事長/岡部 幸大/阿曾 亮介
(地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院)
「デジタルとアートで描く未来のケア : ICTがつなぐ情報・アートがつなぐ心」
- 小林 剛也(財務省大臣官房秘書課 財務官室長 /山形県国際化・交流拡大アドバイザー)
「地域医療を支える地域経済エコシステム」
- 堤 浩幸(アマゾンウェブサービスジャパン常務執行役員・山梨市観光大使)
「医療DX Journey for 2030:生成AIが切り拓く地域医療のイノベーション」

15:00～16:00

座長 山口 浩明(山形大学地域医療AI・デザイン研究講座/創薬科学講座教授)

- 平竹 雅人(一般財団法人竹田健康財団理事)
「多様な視点から考えるイノベーションの進め方」
- 町田 宗仁(前国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部長)
「診療報酬改定の動向 ～時代に合わせた保険診療のあり方～」

16:00～

ご挨拶 柿崎 慎也(国立大学法人 山形大学学術研究院 人文社会科学部准教授)

開会の辞 川前 金幸(山形大学名誉教授 太田西ノ内病院特任病院長)

16:30～17:30

【アートで共創】

- 「アートでつくるまき甲斐とローカルインパクト」
GoYA (縄文アーティスト)

18:30～ 意見交換会